

区民が求めているのは**即応力！機動力！そして結果！** やってますアピールは、要らない！

世田谷行革110番

世田谷区議会議員

おおば正明 まさあき

区政報告



保坂区長のもとで
世田谷区の行政は
4割台運転を続行
知ってました？



<https://ooba110ban.net>

〒157-0063 粕谷3-15-3 (TEL&FAX3307-1179) 第66号2022年4月

保坂区長の行政計画達成率は4割？ 10年目にして初めて確認されたゆる～い低調区政の実態

保坂区政の重要政策は計画倒れ！

(2014年度～17年度)決算書に記載

●世田谷区の平成30年度(2018年度)決算書に小さく書かれた記載がある●『新実施計画』事業における全130の成果指標のうち、4年間の目標に対し4分の1以上達成できたものは130事業のうち72事業。約半数の取り組みは必ずしも順調に進んでいるとは言えない」という一行(決算書P17)●要は、『新実施計画』がほとんど達成されていない、ということです●決算書は区役所(保坂区長)の記述です●『新実施計画』とはまさに、保坂区政の重点政策であり、それらが毎年度予算に組み込まれていました●しかし保坂区政の4年間(2014～18年度)の主要事業の半数以上がまさに「計画倒れ」の状態だったのです●

さらに現在も計画倒れは続行中！

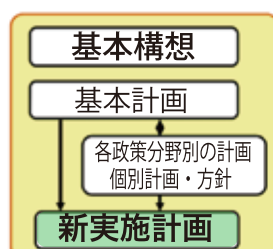
(2018年度～21年度分)も議会で認める

実は今年度に至るも、この「計画倒れ」は続いていたのです。保坂区長は他人ごとのように担当部長に答えさせていました。

「目標達成が半分にも満たない状況が複数年に及ぶ状況は重く受け止めています。」

(令和4年2月21日本会議にて)

『新実施計画』とは・・・？

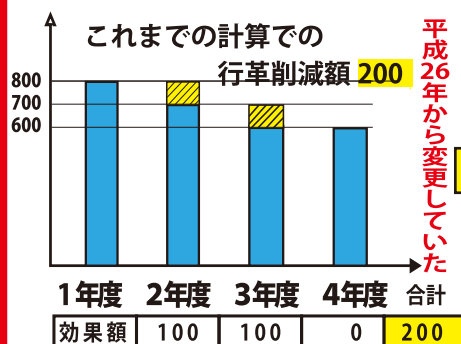


●世田谷区には基本構想という20年前後を見通した大方針があり、次に10年程度の具体的な目標を決めた基本計画があります●その下に各

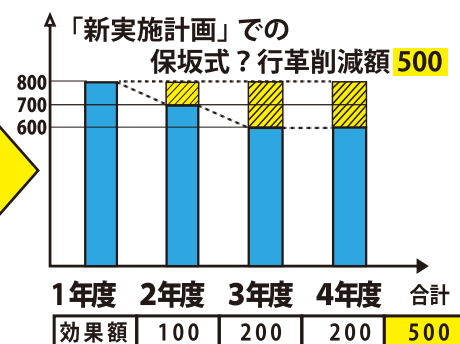
分野ごとの計画が作成され、その集大成が新実施計画です●4年間ごとに前期、後期があります●(平成26年度～29年度の前期)、(以後令和3年度までの後期)

おかしい計算？保坂さんの算数感覚って大丈夫か？

行革の効果額？算定方法の“怪変”・・・見栄えだけの存在しない数字



●上掲は平成26年に出席した「新実施計画(H26～H29)」の18ページからの引用です●理由もなく計算方法を変更して、結果4年間で200しか下がっていないのに、保坂式では500の削減効果に変化！●前年比



ではなく初年度からの比較合計なので●上図では黄色の斜線部分●例えば80キロの人が4年間でダイエットに成功して60キロになったとします●普通なら20キロの減量です●しかし保坂氏の計算では50キロの減量となります。

決断ができない、決断が遅い

●トップは「決断」することが仕事です●保坂区長の場合、ここがネックであると言われています●トップがつかまらない見栄にこだわり逡巡する間に部下の業務は溜まっていきます●また講演会やシンポジウム等に忙しく、見せる区政、見られる区政に腐心している姿は疑問です●「世田谷への愛が感じられない」と言われる由縁でしょう。

基本計画と新実施計画

●「新実施計画」の目標達成ができなかったということは、左図のように各政策分野の計画が滞っている、個別計画が進んでいない、という事だったのです●これは2014年(8年前)からのことで新型コロナ発生が理由ではありません●むしろ内実ユルユルの状態の所に、想定外の新型コロナが襲い、一挙に「新実施計画」が崩れた、というものです●何もかも新型コロナが原因というのは通用しません。

事務方もタオルを投げた 成功例なき保坂区長の下り坂

●世田谷区の決算書の冒頭に「作成基準」が示されています●2018年度決算書まではそこに「各政策のプロセスを分析し、成功要因を記載した」とありましたが2019年度決算書からその部分が抜け「課題・今後の進め方を記載した」に変更されています●もはや「成功要因」がないことを明らかにすべきと区役所が「観念」したということでしょうか●それとも公務員として上記の如き(効果額の)、改ざんに類することを強いられたことへの反発でしょうか●そんな素地があるところに襲ったのが新型コロナだったのです●予断を許さない中で保坂区長の「暴走」は止まりません●結果として本号は「保坂区政の10年」を検証することになりました●字体が「保険の約款書」のように小さくなり、読みにくくなったことはお詫びします

次頁(裏面)